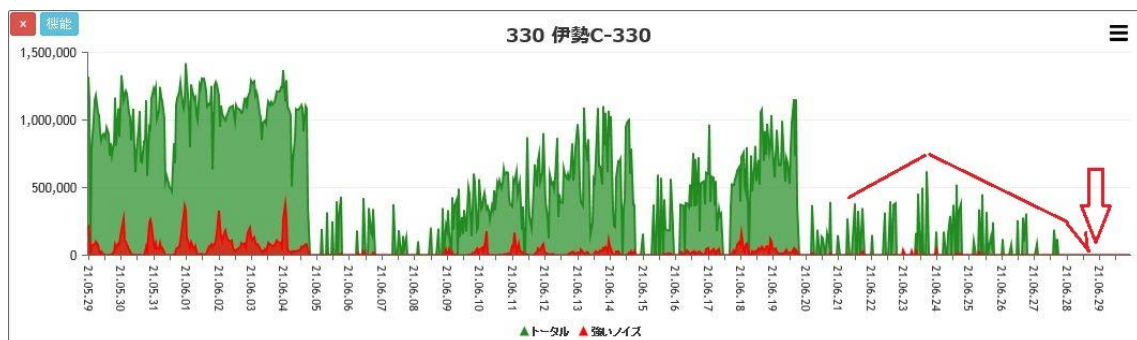
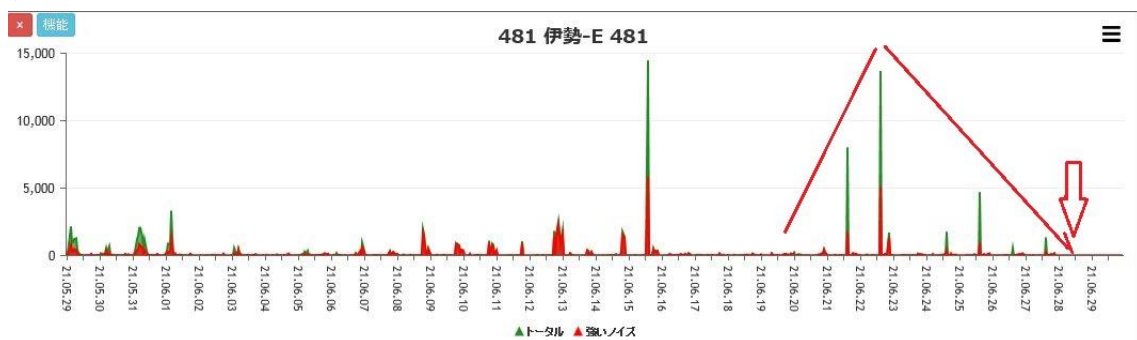


本日 6月28日（月）までのずっと懸案の主要な長期データの詳細を以下に載せます。
 これらの長期の大型データは5月17日の1回目の臨時メールのあとも、いまだ大きくリバウンドはしてきていないので、危険な状態は続いていると考えます。6月25日（金）の満月＝大潮の前後が危険と考えていましたが、以下のようにほとんどのデータが収束してきていることから、もうしばらく警戒を続けたいと思います。

伊勢C330 30日間データ（収束の補助線入り）



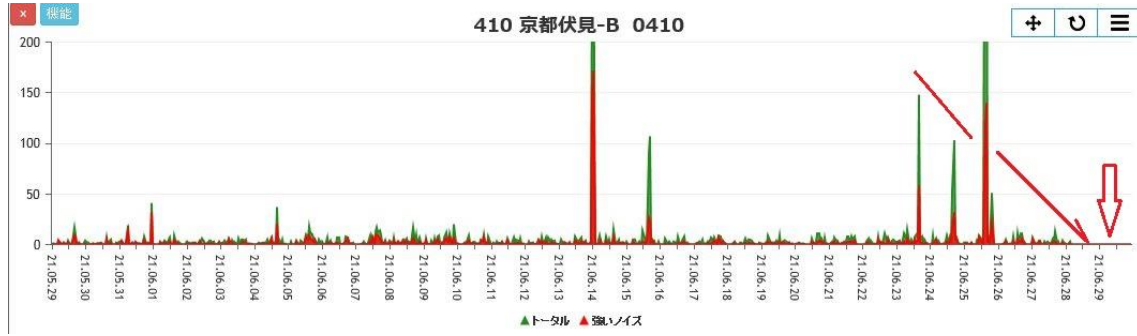
伊勢E481 30日間データ（収束の補助線入り）



伊勢D484 30日間データ（収束の補助線入り）



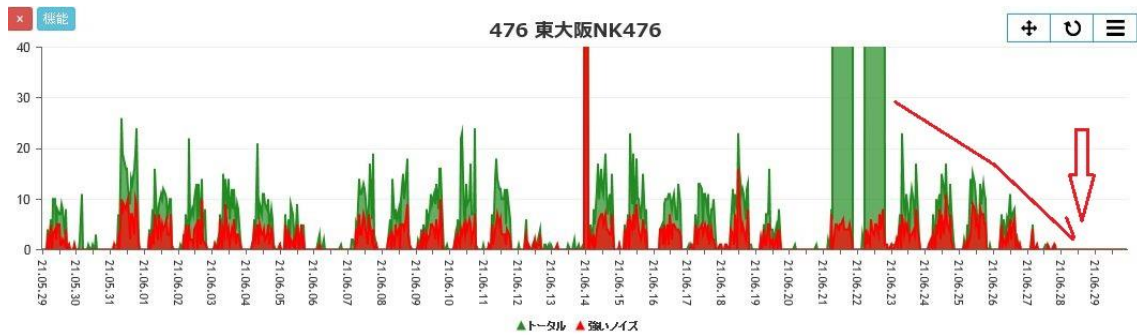
京都伏見 30日間データ (収束の補助線入り)



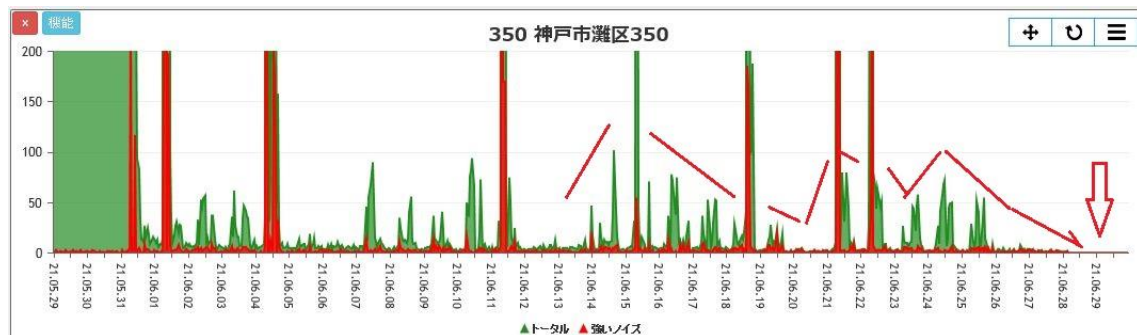
高槻 30日間データ (収束の補助線入り)



東大阪 30日間データ (収束の補助線入り)



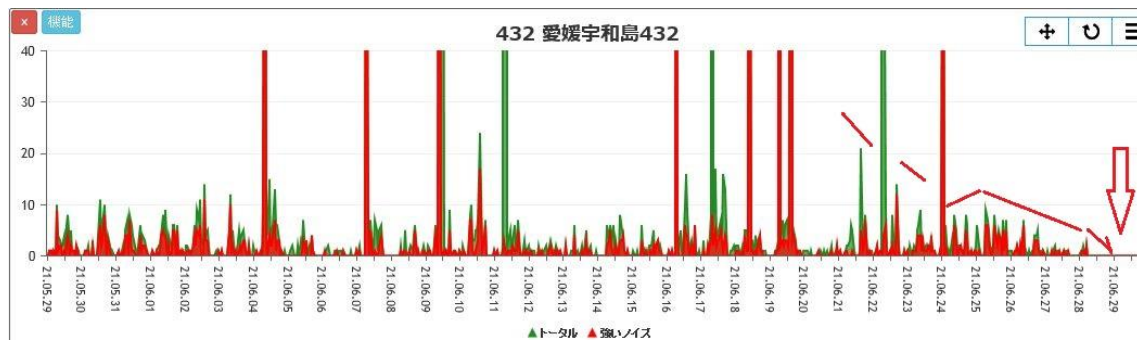
神戸市灘区 30日間データ (収束の補助線入り)



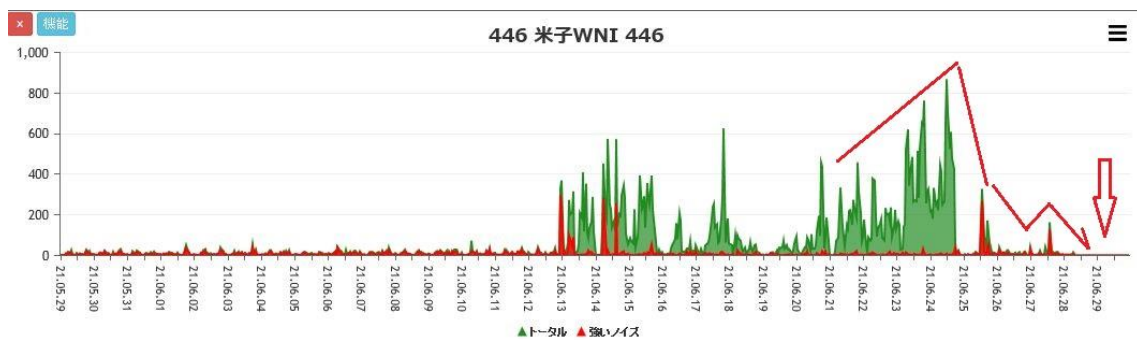
高知市介良 30日間データ (収束の補助線入り)



愛媛 宇和島 30日間データ (収束の補助線入り)



米子 30日間データ (収束の補助線入り)



鹿児島 西之表 (種子島) 15日間データ (収束の補助線入り)

